

今月のトピックス

- 腸管出血性大腸菌感染症が 11 件と増加しています。
- ヘルパンギーナに減少が見られていますが、過去 5 年と比較しても高めです。
- 手足口病にも減少が見られていますが、やはり過去 5 年と比較しても高めです。
- 流行性耳下腺炎は 2 週連続で減少していますが、過去 5 年と比較しても依然高めです。

平成 22 年 6 月 21 日から 7 月 25 日まで(平成 22 年第 25 週から第 29 週まで。ただし、性感染症については平成 22 年 6 月分)の横浜市感染症発生動向評価を、標記委員会において行いましたのでお知らせします。

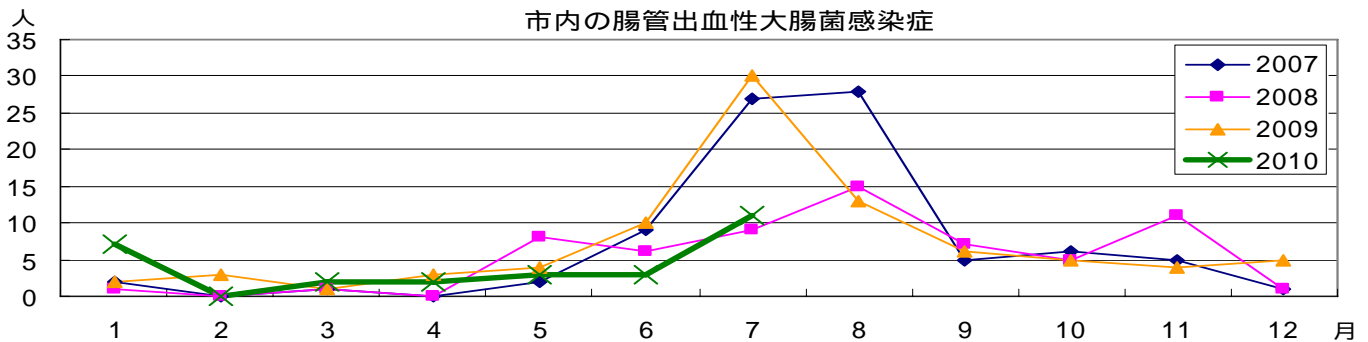
平成 22 年 週 - 月日対照表

第 25 週	6 月 21 ~ 27 日
第 26 週	6 月 28 日 ~ 7 月 4 日
第 27 週	7 月 5 ~ 11 日
第 28 週	7 月 12 ~ 18 日
第 29 週	7 月 19 ~ 25 日

全数把握の対象

1 **腸管出血性大腸菌感染症**: 11 例の報告がありました。過去 3 年間の市内の発生状況では、例年夏期にピークが見られています。8 月の増加が心配されます。8 月は [食品衛生月間](#) です。家庭でできる一般的な 6 つのポイント(新鮮な食材の購入 冷蔵・冷凍での食材保存 手洗いの励行、清潔な調理 肉・魚の十分な加熱 食事前の手洗いと調理後はすぐに食べる 清潔な容器で保存し温め直すときは十分に加熱、長時間過ぎたものは捨てる)を心がけましょう。また腸管出血性大腸菌感染症は全国的にも件数が多く、幼児が重症化したりすることで問題になっていますが、菌は家畜の腸にいるので新鮮な肉を購入しても菌が付着している可能性があり、生肉を切った包丁まな板の使用の都度の洗浄・消毒や焼肉の取り箸は区別することが大切です。また菌は熱に弱いので、生(焼け)肉を食べないこと。特に、抵抗力の弱い乳幼児には良く焼いた肉しか与えない事が大切です。発生時の対応につきましてはこちらをご参考ください。

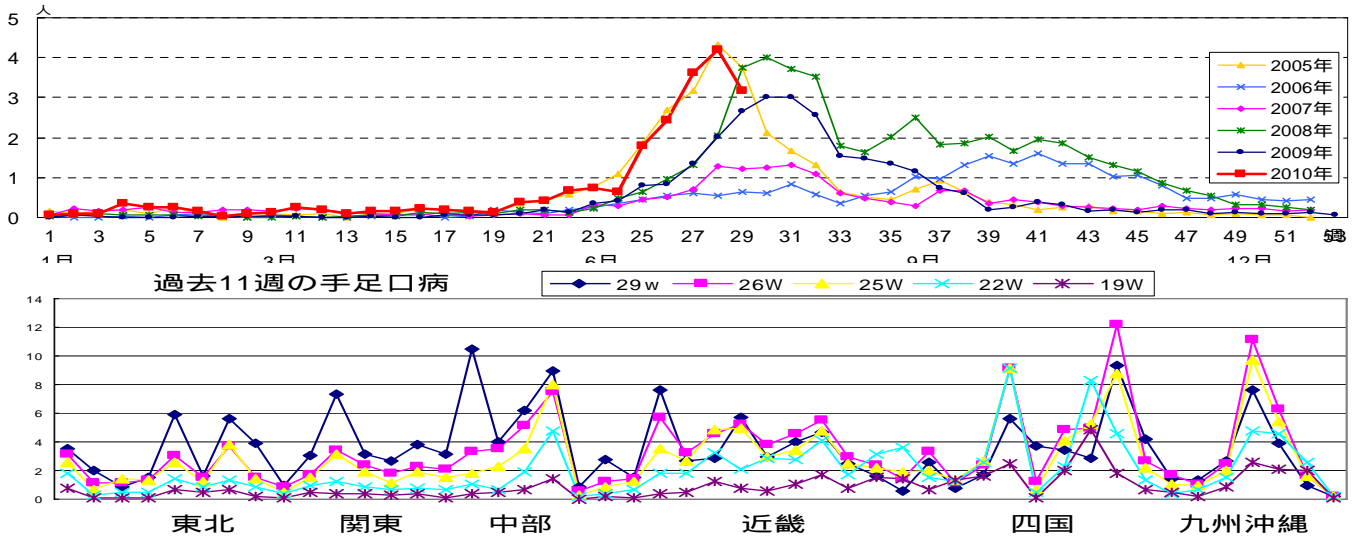
横浜市衛生研究所 HP http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/rinji/infoc_o157_guide.html



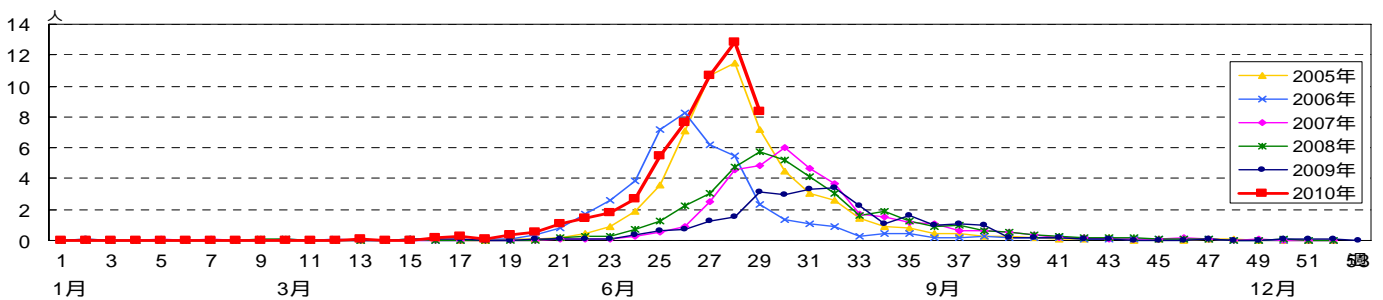
- 2 **A型肝炎**: 2例の報告がありました。感染経路は不明です。4月から全国的に報告数が多かったのですが、7月に入り全国での報告数は例年並みに落ち着いています(週 5~6 件程度/全国)。
- 3 **レジオネラ**: 5例の報告がありました。5例とも肺炎型でした。6月にも5例の報告があり、4例が肺炎型、1例はポンティアック型でした。2005 年 10 月に成人市中肺炎診療ガイドライン(日本呼吸器学会)が発行され、中等症以上の患者には、レジオネラ尿中抗原検査を実施するとされたことにより、全国的に 2005 年以降患者が増加しています。しかし、市内で昨年 1 年間では 16 件の発生報告でしたので、今後の発生動向に注意が必要です。
- 4 **麻疹**: 5例の報告がありました。予防接種歴があるのは 3 例でした。麻疹は非常に重篤な障害も残したり、時には致死的な疾患です。必ず定期の予防接種を受けましょう。
- 5 **HIV感染症**: 6月の追加報告が 2 例ありました。今年は 21 例の報告があり、18 例(86%)が男性。うち 12 例(67%)が同性間性的接触によるものです。男性の同性間性的接触への注意喚起が必要です。

定点把握の対象

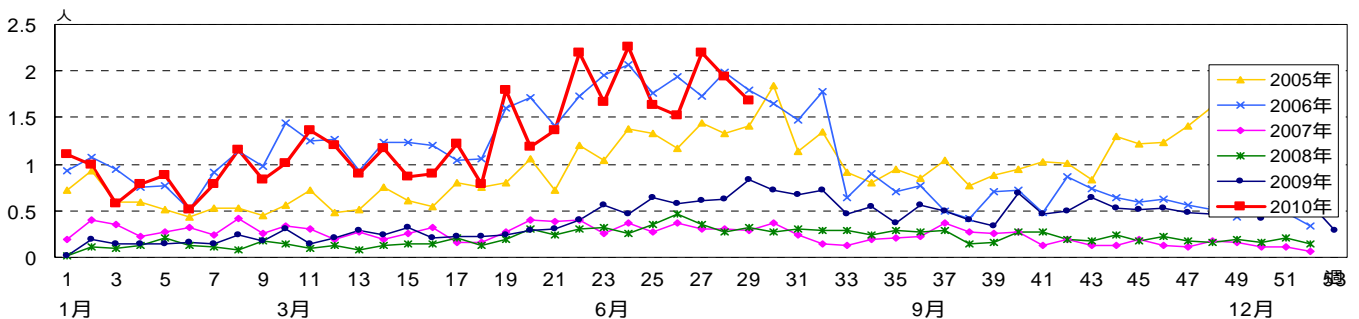
- 1 **手足口病**:第29週は定点あたり3.18でした。行政区別では泉区6.25、緑区6.00、神奈川5.67が高めです。全国では3.53、神奈川県(横浜、川崎、相模原を除く。以下県域)3.39、川崎市2.64、東京都3.78です。全国的にも第20週に入り増加が見られていましたが、第28週の定点あたり3.94をピークに下がっていますが、西日本の減少と、関東、中部を含む東日本の上昇が見られます。横浜では第28週の4.21がピークでした。



- 2 **百日咳**:第29週は市内で8人の報告が見られ、定点あたり0.10でした。10歳未満が4人、10歳以上が4人でした。全国0.05、県域0.21、川崎市0.03、東京都0.08です。
- 3 **ヘルパンギーナ**:第29週は定点あたり8.33です。行政区別では磯子区21.00、緑区16.80、港北区14.75、泉区14.00が高めです。全国では5.04、県域6.78、川崎市9.39、東京都6.45です。未だ過去5年でも高めです。



- 4 **流行性耳下腺炎**:第29週は定点あたり1.69です。行政区別では、泉区6.00、緑区3.40、神奈川区3.33が高めです。全国では1.30、県域は1.68、川崎市0.91、東京都0.93です。未だに過去5年でも高めです。



- 5 **性感染症**:6月は、性器クラミジアは男性19例、女性22例、性器ヘルペス感染症は、男性9例、女性8例です。尖圭コンジローマが男性2例、女性6例です。淋菌感染症は男性8例、女性1例です。

この感染症発生動向調査委員会報告とデータの詳細については、下記のホームページに掲載されていますので、他の記事と合わせてご覧ください。

横浜市衛生研究所ホームページアドレス URL:<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/>